



神奈川県・地方上級公務員試験の多くの

自治体は人物（面接）重視で採用しています。

下の表は2023年実施の神奈川県の地方上級試験の実施状況の一部です

自治体名		神奈川県庁		横浜市役所*				相模原市役所	川崎市役所**			
合格者決定方法		リセット方式		総合得点方式				リセット方式	総合得点方式			
職種		行政一般	環境技術(化学)	行政職(一般)	行政職(特別枠)	社会福祉	環境(化学)	行政職		行政事務	土木	心理
筆記試験	受験者数	616	21	1,451	1,340	170	20	445	受験者数	784	27	33
	合格者数	577	18	593	302	163	13	273	面談対象者	604	23	32
	倍率	1.07倍	1.17倍	2.45倍	4.44倍	1.02倍	1.54倍	1.63倍	倍率	1.30倍	1.17倍	1.03倍
面接試験	受験者数	374	13	593	302	163	13	258	一次試験合格者	348	19	24
	最終合格者数	195	4	180	57	81	4	58	最終合格者	193	16	17
	倍率	1.91倍	3.25倍	3.29倍	5.30倍	2.01倍	3.25倍	4.45倍	倍率	1.80倍	1.19倍	1.41倍
最終倍率		3.16倍	5.25倍	8.06倍	23.51倍	2.10倍	5.00倍	7.67倍	最終倍率	4.06倍	1.69倍	1.94倍

*横浜市役所は2次試験の受験者数を公表していないため、計算は1次試験合格者を元に計算しています。

**川崎市は1次試験の筆記試験で一定の点数を取った人だけが面談試験へ進めます。

1次試験の結果は筆記試験と面談試験の各結果を総合して判定されます。

解説 合格者決定方法（リセット方式、総合得点方式）について

総合得点方式とは1次試験から始まる試験の得点を全てカウントする試験です。ただし、その際に配点に修正が加えられることがあります。横浜市事務職の試験は1次、2次試験の配点は最終試験である3次試験である面接試験の10分の1程度になっています。

リセット方式とは1次試験等をクリアすれば点数がリセットされ、次の2次試験等では全員が0点から始める試験です。

2023年公務員試験合格者 三崎城政さんからの面接のアドバイス

(最終合格 横浜市・特別区・国家一般職・国税専門官・裁判所事務官一般職)

面接対策】

(自己分析について)

面接対策を始めるにあたって、自己分析をすることは大切だと思います。自己分析のやり方としては、今まで部活やサークル活動で頑張ってきたことやアルバイト、自分の好きなことについて箇条書きなどで書き出してみるといいと思います。些細な事でも書き出してみると頭で考えているよりも、より客観的な視点で自分自身を知ることが出来ます。LEC受講生の場合には、リアル面接シュミレーションという面接対策をするための場が設けられています。そこでは、分析編と実践編があるのですが、自己分析などの場合には、分析編を予約し、活用してみると書き出したことが一つの文章として固まってくると思います。